



平成28年7月1日(木)

夏の野菜が順調に大きくなっていたと思ったら、6月27日(月)の朝「園長先生やられました～」年長のお当番さんと長谷川先生が傷ついたナスとスッキーニを持って来て見せてくれました。新聞屋の山口さんからは「この辺はカモシカが来るで網をしたよ」と教えて貰っていましたが、「やっぱり来たのかな？」と思ったらカモシカにしては、傷の付き方がどうもおかしい！そこで山口さんに聞いてみたらカラスのしわざと言うことが分かりました。このスッキーニは、いろいろとお世話になっている山口さんにフレンチメントしようと思っていたのに残念でなりません。年長さんとまたカラス対策をしなくては・・・と頭を悩ませています。何方かカラス対策を教えてください。

夏はとってもすてきだな

♪なつはとってもすてきだなほんとうにうれしいな♪なんて歌い出したくなるような解放的な夏の到来です。子どもたちもプール遊びに夢中になり、教えて貰ったお約束事をしっかりと守りプール遊びを楽しみます。プールオープン式典の日も嬉しくてウキウキでしたね。夏のいろいろな遊びを通して大きく成長できる時、心も体も大きくなります。そんな子どもたちを温かく見守って下さり応援してほしいです。プール遊びは個人差が大きく水に慣れる事も早い子もあれば、時間のかかる子もあります。ゆっくり見ていて下さい。プール納めの頃にはみんな笑顔でイルカになっている事と思います。

夏の病気にご用心

プールに入る頃になると気になり始めるのが水いぼです。少し前までは水いぼができていって「プールに入れません。病院で取ってもらいましょう」と言われ泣きながら病院で取って貰っていましたね。最近の小児科医の先生や小児科医の本によると水いぼは、「ほうっておこう」と記してあります。水いぼはいつのまにか自然に治るらしく、「いぼとり」と言う仕事子どもにとって地獄の責め苦を味わわされる事になるから止めた方がいい、子ども思いの小児科医はもうずっと以前から水いぼとりには反対しておられるそうです。たまにひっかいて化膿させることがあります。そんな場合も簡単に治療できますから、もしそうになったら早めに治療しましょう。そして夏のウイルス病の代表として子どもたちが感染するのがプール熱です。プール熱は正しく言うと咽頭結膜熱と言ってアデノウイルスと言うウイルスによって起ります。のどと、目が真っ赤になり高熱がでますが乳幼児では、吐いたり下痢したりという症状が強く逆に目の症状などはほとんどなかったりするそうです。夏の病気の豆知識として参考にして下さい。園では子どもたちの健康と安全には、十分に気をつけて保育していきたいと思ひます。

<お知らせ>

- * 恵那市のホームページのえなスクールネットに中野方保育園のパン作りがのっています。**
- * 本日の絵本の読み聞かせ(やまびこの会)をアミックスコムが撮影されていかれニュースで流されるとのことです。**

